

「女性視点の備えと 避難所運営 ～東日本大震災の経験から」

4/20
(土)

午前 10 時～正午

1月1日に発生した能登半島地震は、震災大国日本において「いつ、どこで起こるかわからない」という不安を改めて感じる災害となりました。現在も避難所での生活を余儀なくされている方がいらっしゃいます。災害時、避難所ではどのような困りごとが起きるのでしょうか。2011年3月の東日本大震災で、岩手県陸前高田で避難所運営にあたった講師は、女性支援に特に力を入れて活動しています。被災の当事者となった場合や、避難所支援にあたる場合に配慮していききたいことについてお話をうかがい、日頃からできる備えをしていきませんか。ぜひ、男性の方もご参加ください。

会場／東部公民館 学習室

講師／五十嵐ゆかりさん(聖路加国際大学大学院教授)

内容／●3. 11の女性支援活動や調査に携わって

- 避難所での女性特有の課題
- 妊婦や母子への配慮について

定員／申込み順28人 費用／無料 持ち物／筆記用具

保育／3人(1歳6ヵ月以上就学前まで)

当日午前9時30分～9時50分 オリエンテーション※親子で参加

申込／4月6日(土) 午前10時から電話または直接東部公民館へ

【プロフィール】岩手県出身。東京都と岩手県で助産師として産婦人科病棟に勤務後、オーストラリアシドニー大学で修士課程、聖路加国際大学で博士課程を修了し、聖路加看護大学助教、聖路加国際大学大学院准教授(ウイメンズヘルス・助産学)を経て、2020年より現職。2011年4月から9ヶ月間、岩手県陸前高田市の複数の避難所で女性に対する支援活動を行う。東京都総務局総合防災部防災管理課「女性視点の防災ブック」編集・検討委員会の委員(H29)として、「東京くらし防災」作成・発行に関わる。



調布市東部公民館

(京王線仙川駅下車8分) *月曜休館

Eメール: toubuk@city.chofu.lg.jp

tel:03-3309-4505 fax:03-3305-3456

〒182-0003 調布市若葉町 1-29-21

